

令和2年度 鹿児島市小・中連携研修（中郡小・鴨池小・鴨池中グループ）研究のまとめ

鹿児島市立鴨池小学校

1 主題

充実した学習及び生徒指導・保健指導を目指す小・中連携の在り方
～「学年・学級経営」「学習指導」「生徒指導」「保健指導」「業務改善」の観点から～

2 主題設定の理由

変化の激しい社会を担う子供たちに必要な「生きる力」を育むため、確かな学力、健やかな心と体の育成が学校教育に求められている。そのためには、限られた時数の中での授業の取組、児童生徒がスムーズな学校生活を送るための学級及び学年における支援のあり方、コロナウィルスに関わる保健指導内容の検討、子供との時間を生み出すための業務改善についての課題が大きく関係している。そこで、同地域に生活する児童・生徒の健全育成や学力向上、及び児童・生徒に寄り添う教育を目指し、小・中学校間での情報交換をしながら各校種の特徴を生かした実践や提言を共有することが有意義であると考え、主題を設定した。

3 研修・情報交換の視点

- (1) 学年及び学級経営
- (2) 学年・学級・教科における学習指導
- (3) 各発達段階における生徒指導
- (4) コロナウィルス等感染症対策及びその他の保健指導
- (5) 業務改善に関わる取組

4 研修の実際

今年度は、コロナウィルス感染予防のため、例年実施している研修会及び授業参観は実施せず、3校の担当者による話し合いを経て、各視点での課題、取組（手立て）、アドバイスや改善策等について、各学級・学年・学校でデータを入力、情報交換をする形で小・中連携研修に変えることとした。

(1) 研修の流れ

4月24日 3校担当者会

4月27日～5月18日 各視点の課題及び取組を各校で入力

5月18日～6月8日 他2校の課題及び取組に対する手立てやアドバイス・感想を相互に入力

6月8日～6月11日 中郡小、鴨池中より入力済みデータを鴨池小へ送信

6月18日～7月中旬 小・中連携研修のまとめとして印刷し、冊子を市教委へ2部、各校へ10部送付

(2) 課題・取組・改善策・感想の記入及び情報交換、情報発信

ア 視点によっては、より具体的に改善策を共有するために、各学級（特別支援学級含む）・学年、教科、それぞれの立場で課題や取組及び実践を記入する。

イ 各校での課題や改善策が明確になるように、3校分を集約するのではなく、学校別にまとめる。

ウ 各校の課題や取組及び実践に対する他2校からのアドバイスや感想を入力後、小・中連携研修のまとめとして各校に配布する。なお、全職員が閲覧できるようデータをpdf化し、学校間連絡でデータを送付する。

(3) 次年度への引継ぎ

ア 各校で担当が変わっても困らないように、小・中連携研修に関わるデータは、各校の校務用パソコンの「研修」または「小・中連携」フォルダ等に保存し、確実に次年度に引き継げるようにしておく。

イ 3校小中連携研修の令和3年度の担当校は、中郡小学校となる。

ウ 年に一度の研修にとどまらず、年間を通して、小・中連携の取組を図れるようにする。